



公益社団法人 愛媛県建築士会

<http://www.ehime-shikai.com>

卯之町の町並み保存について
「建築士の日」行事報告
中四国若手建築志(士)交流会報告



1

寄稿

- 卯之町の町並み保存について 西予市産業建設部商工観光課町並み保存係 水口 忍 ……①
玉石混交 松山支部 玉乃井公和 ……④

2

支部報告

- 平成 25 年度『建築士の日』行事実施報告書 無料住宅相談会 四国中央支部 ……⑥
平成 25 年度『建築士の日』行事実施報告書 建築物の耐震診断・耐震改修 PR2013 七夕祭り・夏彩祭 周桑支部 高木 勝将 ……⑦
平成 25 年度『建築士の日』行事実施報告書 おかしのまちをつくろう! 今治支部 ……⑧
平成 25 年度『建築士の日』行事実施報告書 無料建築相談、「建築士の日」街頭アピール、団扇配り、ゲーム大会 八幡浜支部 ……⑨

3

委員会報告

- 東雲神社「蔵」測量調査報告 文化財・まちづくり委員会 委員長 花岡 直樹 ……⑩
女性委員会主催勉強会「色彩心理学入門」報告 今治支部 近藤 佳代 ……⑯
第 17 回中四国若手建築志(士)交流会 inEHIME 青年委員会 副委員長 若手交流会 実行委員長 松本 一師 ……⑰
技術講演会に参加して 松山支部 和田 崇 ……⑱
若手建築志(士)交流会に参加して(砥部編) 松山支部 西森 勉 ……⑲
若手交流会大懇親会の余興係りを務めさせていただいて 松山支部 渡邊 道彦 ……⑳

4

けんちくの輪

- 私の転機 新居浜支部 和田 卓巳 ……㉑
建築士になって 西条支部 国宇順一郎 ……㉒

5

お知らせ

- 平成 25 年度 愛媛県耐震診断・改修計画評価委員会開催日程 事務局 ……㉓
平成 25 年度 民間木造住宅耐震化促進事業費の補助制度一覧 事務局 ……㉔
編集後記 情報・広報委員 ……㉕



【表紙の写真】

題 : あじわいある街並み
撮影者: 西予支部 清家 直

表紙の写真について

国の重伝建(西予市卯之町)に
選定されて4年
こつたがえす観光客とは
無縁の街並み
児童たちの通学ラッシュを終え
静かな街並み
そんな街並みが私は好きです。

重伝建地区: 重要伝統的建造物群
保存地区(文化庁指定)

【表紙の募集について】

本誌の表紙の写真を随時募集しています。
愛媛の建築、又は建築と風土、町並み、設計作品
などの写真を下記の要領で事務局にお届け下さい。
審査の上、採用されれば掲載させていただきます。
また、サイズの調整やトリミングをさせて頂く事
をご了承ください。

期 間: 随時

様 式: デジカメデータ (JPEG)

サイズ他: 自由

応募方法: 持参かメール添付

支部名、氏名、題名、コメント

※応募作品の著作権は募集者に移る条件となります。

卯之町の町並み保存について

西予市産業建設部商工観光課町並み保存係 水口 忍

○西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区の概要

西予市は愛媛県の西南部に位置し、平成16年4月1日に明浜町・宇和町・野村町・城川町・三瓶町の5町が合併して誕生しました。

西はリアス式海岸の宇和海に面し、東は高知県境の山々と接していて、東西に長く、標高差が1,400mあることから多様な自然と歴史、人々の営みが残っています。

市の中心部西寄りに位置する宇和町は周囲を山々で囲まれた盆地で、古くから南予の穀倉地帯として知られてきました。

その宇和町の中心地である卯之町に『西予市宇和町卯之町重要伝統的建造物群保存地区』があります。

重要伝統的建造物群保存地区とは、『周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値が高いもの（伝統的建造物群）、およびこれと一体をなしてその価値を形成している環境を保存するため、市町村が地域地区として都市計画もしくは条例で定めた地区である。』とされており、平成25年度現在で全国に104地区、愛媛県内には内子町と西予市の2地区が選定を受けております。

卯之町の町並み保存地区はJR卯之町駅から北東に位置し、駅から10分ほど歩いて頂くと町並み保存地区となります。

卯之町の町並み保存地区は、5つのエリアからなり、面積は全体で4.9ha、それぞれのエリア毎の特色を備えています。



・中町（なかのちょう）の町並み

卯之町でもっとも古い町並みが残る区域で大型

の町家と標準的な町家が混在し江戸時代の建造物が道路に面して多数現存しています。

醸造業を営んでいた末光家住宅や、卯之町の庄屋屋敷内にある長屋門（鳥居門）、大正14年に建築された卯之町キリスト協会など特徴的な建物が多く現存します。

・新地（しんち）の町並み

中町の西側、中町との境界付近には明治時代を中心とする伝統的な建造物が残り、小規模な平入りの建物に一部妻入りが混じる町並みを形成しています。漆喰塗り込め袖壁を持つ堅牢な建物もあります。



・横町（よこまち）通りの町並み

中町の南側に形成された区域で住宅地域として発展してきました。

敷地を板塀で囲った構えと長屋の名残を残した区割りがあり、幅の狭い通りと連続する塀によって閉鎖的ですが落ち着いた町並みとなっています。

・大念寺（だいにんじ）

中町の北側に位置し、伊予西園寺氏の菩提寺で



ある光教寺があります。

この光教寺の本堂・庫裡・山門などの寺の建物のほか、明治2年に私塾として町民により建てられ明治3年には宇和郷校となった申義堂（市指定文化財）や、明治15年に建築された擬洋風建築の開明学校（国指定重要文化財）が現存し公開されています。



また、宇和歴史民俗資料館や卯之町の町家を再現し古い民具を中心に展示している宇和民具館もこのエリアにあります。

・下町（しものちょう）の町並み

中町の南東に位置します。中町と同じく近代には商家が並ぶ町並みでした。宇和島街道と県道が交差する付近は明治末より南北に延伸してきた商店街の起点で、近代には卯之町のもっともにぎやかな場所であったとされます。木造3階建ての建物や木造モルタル造りの商店などが残っております。

保存地区内に現存する建築物は、江戸中期から昭和初期に建築されたものが多く、伝統的建造物群を構成する伝統的建造物の大半は町家型の建築です。

町家は間口が3間半～4間規模、奥行き30間規模が平均的な大きさで、比較的間口が狭く奥行き長い妻入りの町家と酒造業などを営む間口の広い平入りの町家があります。

表通りに面して間口いっぱいに主屋を建て、その背後に付属屋、その奥に土蔵や畑を配しています。敷地に余裕がある場合には、表通りに面して高塀や門、あるいは土蔵を配するものもみられます。

主屋の階高は19世紀までは中2階でその後本2階が主流となります。

外観の伝統的な形態は2階部分を漆喰大壁とし真壁とするものが多く、卯建や袖壁を備える町家もみられます。

多くの町家で妻面は、大壁で白漆喰仕上げを基本とし、壁面保護のため定尺の焼杉板を貼り上げることもあります。上部については母屋鼻や野地裏を含め漆喰で塗り込め仕上げとしています。

正面は、一階には格子、蔀（しとみ）、大戸、床机等をもうけ、二階は障子戸の外側に戸袋付きの雨戸を引いています。

また、「ひじ」と呼ばれる持ち送りが庇の腕木や出格子の下部に設けられ巧みな彫刻が施されたものが多くあります。

この建築物のほかにも、門や塀、敷地を造成している石積みや、カイツカイブキや桜といった老木、光教寺の庭園などが伝統的建造物群と一体となって歴史的風致を形成しており見所となっております。

○町並み保存の取り組み

昭和48年、当時愛媛県が進めていた文化の里事業により、宇和町卯之町の中町を中心とした10.8haが「宇和文化の里」として選定されました。

この文化の里選定をきっかけに、宇和町では町の所有している開明学校や現在も町並み保存地区に残る、いわゆる文化の里施設のハード事業が進められ、その一方で住民の先導による伝統的な卯之町の町並みを残そうとする運動も活発化されました。

昭和59年に広島大学の教授による町並み調査がおこなわれ、平成5年に中町町並み保存地区が町の文化財に指定されると、町並み保存のための修理・修景事業がスタートします。

修理・修景は平成20年度までに25件にのぼり、卯之町の町並みを保存する上で一定の効果をあげました。

そのため、事業をさらに効果的におこなうべく、平成15年に宇和町伝統的建造物群保存地区条例が制定されました。

それに基づき、平成21年6月に近世前期に成立した在郷町の範囲が保存地区として決定され、同年8月保存計画策定、国に申請し平成21年12月8日、「伝統的建造物群及び地割が良く旧態を保持しているもの」として、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。

○町並み保存とは？

昭和48年の文化の里選定を卯之町の町並み保存の

スタートと考えるのであれば、卯之町が町並み保存に取り組みはじめて今年で実に40年になります。

現在、西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区では、建物の老朽化、住民の高齢化、後継者不在による空屋の増加、伝統的建造物を修理・設計する技術者の確保、など様々な課題を抱えています。

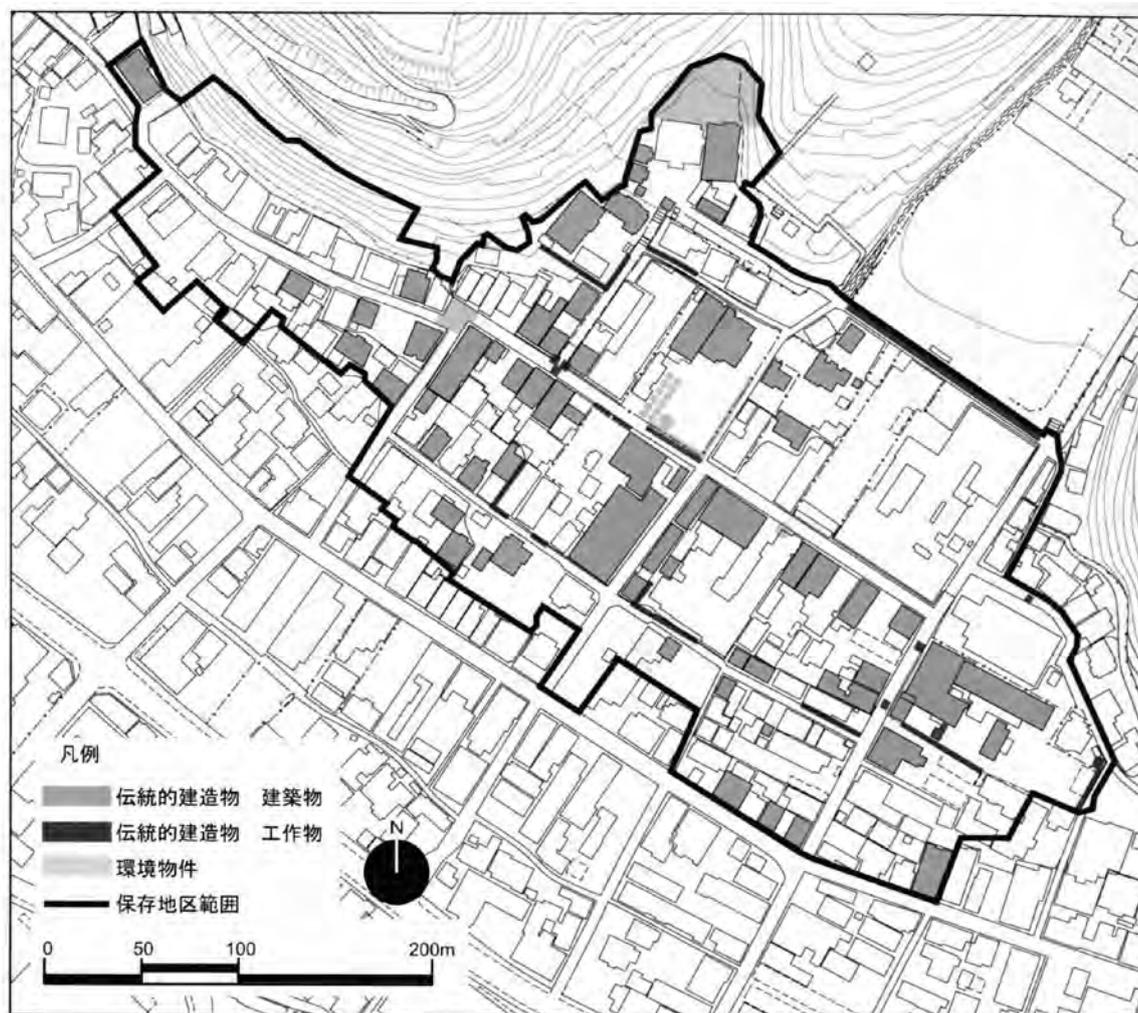
○町並み保存とは？「伝統的な町並みを守り残していくこと。」

これまで、江戸の時代から卯之町の先人達が残してきたこの歴史的環境を次世代に守り伝えていくため、卯之町のあるべき姿を思い描きながら住民の方々とともに町並み保存に取り組んでいきたいと思えます。

最後になりましたが、西予市は平成25年9月24日『四国西予ジオパーク』として日本ジオパークに認定されました。

ジオパークとは地質や地形などの地球活動の記録を保全して研究・教育活動に生かすとともに、地質や地形の成り立ちとそれと人の暮らしの関わりを実感して楽しむところです。歴史と人々の暮らしが色濃く残っている『西予市宇和町卯之町重要伝統的建造物群保存地区』もジオポイントとして重要な位置づけをされています。

西予市にお越しの際には、卯之町の町並みとともに、市内に点在するジオポイントにも足をお運びいただきますようお願いいたします。



西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区と特定物件 (平成24年3月31日現在)

平成 25 年度 『建築士の日』 行事实施報告書

支部報告

2

四国中央支部

行事等の名称	無料住宅相談会
日 時	平成 25 年 7 月 27 日
場 所	四国中央市川之江町栄町商店街
対 象 者	紙まつり観客
参加者数	支部会員 10 名

活動の内容と成果

当日は「四国中央かみまつり」というイベントで賑わっていました。

商店街にいろいろな出店やフリーマーケットが並ぶ中、当支部も「住宅無料相談」と銘打ちましてブースを設けました。

なかなか立ち寄ってもらえませんでした。親子連れの若いご夫婦など、「これからマイホームを」という世代の人が覗いてくれました。

相談内容としては、住宅ローンの金利の見通しや、省エネ住宅に対する助成金の種類の質問等がほとんどでしたが、デザインや機能的な質問も多くいただき、建築士としての知識を生かして対応いたしました。



建築物の耐震診断・耐震改修 PR 2013 七夕祭り・夏彩祭

周桑支部 高木 勝将

丹原町商店街に趣向を凝らした七夕飾りのアーチが続く『丹原七夕まつり』が8月5・6・7日に開催されました。

周桑支部では西条市役所建築審査課さんと協力をして、建築物の耐震診断・耐震改修のPR活動をしました。また、かき氷・射的コーナーを設けることでより多くの人にPRできたと思います。



丹原七夕まつりの射的コーナーブース風景

この七夕まつりには幅広い年齢層の方々が参加されるため、普段あまり耐震について意識されていない方も多かったです。一昨年の東日本大震災で地震の怖さはTVでも放送され、耐震改修の重要性は徐々に広まりつつあります。ただ、残念ながらなかなか自分の家のことと



丹原七夕まつりと夏彩祭で配布した団扇

ると「まだ、自分の家は大丈夫」と思っている方が多いように思います。

市での補助金制度もあるので、有効に活用してもらえようこれからもどんどんイベントに参加してこういった情報を広めていきたいと感じました。

ちなみにお祭りの感想ですが、8月6日に阿波踊りの吉野連さんが招待されていて、商店街を往復しました！間近でみる阿波踊りは迫力があって面白かったですよ！興味のある方はぜひ来年参加してみたいか！？



夏彩祭で団扇を配布しながら耐震診断のPR

8月18日には、壬生川で行われた夏彩祭に参加しました。



夏彩祭で耐震診断のパフレットを展示したパネル

パネルコーナー・相談窓口を設置して、耐震診断・耐震改修に関する資料を配布しました。七夕祭りとは違って日中のイベントで暑いので、周桑支部で耐震診断・耐震改修のPRうちわをつくり、会場で配りました！

配布したうちわを扇いでお祭り会場を歩く人が宣伝効果にもなるので、暑さ対策と一石二鳥でした。こちらのお祭りも来年ぜひお時間があれば参加してみてください！

今治支部

行事等の名称	おかしのみちをつくろう！
日 時	平成 25 年 7 月 27 日 (土) 13:30 ~ 17:00
場 所	ピポット今治 (四国ガスショールーム)
対 象 者	今治市内の小・中学生
参加者数	小・中学生とその保護者等合計約 40 名

活動の内容と成果

西条市の洋菓子店「パティスリーグランメール」から講師を招き、おかしのみちづくりを行いました。予想以上の反響があり、当初の予定よりも参加者を増やして実施しました。おかしの家を作っている子供たちの様子は真剣そのもの。子供達の夢がいっぱい詰まった、素敵のみちが出来上がりました。一緒に参加したスタッフも童心に帰り、楽しい時間を共有できました。このイベントをきっかけに、モノづくりの楽しさや、建物のデザインに興味を持ってもらえるとうれしいです。初めての試みで試行錯誤でしたが、参加者全員から「また参加したい」「楽しかった」との評価を得られました。来年以降も可能であれば継続していきたいです。



八幡浜支部

行事等の名称	無料建築相談、「建築士の日」街頭アピール、団扇配り、ゲーム大会
日 時	平成 25 年 8 月 3 日(土)18:00 ~
場 所	新町ドーム(八幡浜新町アーケード内)
対 象 者	土曜夜市一般通行人
参加者数	15 名

活動の内容と成果

八幡浜支部は、「建築士の日」を街頭にてアピールするため、ロゴ入りの団扇を配布し、ゲーム大会を開催しました。今年で3回目の開催となるため手馴れた子供達も多くなり、未来の建築士・大工の育成に貢献出来ているのでは…。今年度もケガする子供も無く、子供達の笑顔をたくさん見ることが出来ました。また、同じ場所で無料建築相談も開催し、親子共々楽しんで頂きました。



若手建築志(士)交流会に 参加して(砥部編)

松山支部 西森 勉

先日、中四国若手建築志交流会 愛媛大会(砥部地区)に参加しました。

県外からは28人の建築志が来られました。

砥部地区では、砥部焼伝統産業会館見学のあと、砥部焼き体験(絵付け・手びねり・ろくろ)と窯元見学の2コースに分かれ、それぞれに砥部地区を堪能していただきました。

砥部焼き体験では、陶和会さんのご指導のもと皆さん真剣な眼差しで、初めてとは思えないほど素晴らしい作品を作られていました。

また窯元見学では、スタンプラリーを進めながら徒歩にてギャラリーを持つ窯元を回りました。砥部焼きのランプシェードや手洗い鉢などの建築材料もあり、砥部焼きの幅広さも伝わったのではないかと思います。そして

今回の技術講演会にもあります松村正恒氏設計の工藤邸(春秋窯)にもお邪魔をし、当時の松村氏や砥部焼きについて楽しくお話を聴かせていただきました。

今回の若手建築志で他県の方をおもてなしするにあたり、事前に砥部地区勉強会に参加したり、陶和会さんとの打ち合わせを重ねたりと、愛媛の伝統工芸を改めて学び自らも貴重な体験ができたと思います。

砥部焼伝統産業会館の松村館長様や春秋窯の工藤先生、そして陶和会様には色々とお世話になり、ありがとうございました。

また、他県の方との交流を通じ同じ建築士として沢山の刺激を受けることができました。

このような経験を通しこれからも建築士会、また個人としても砥部焼きと繋がりを持ち続けたいと思います。



砥部焼見学



砥部焼見学



砥部焼体験



砥部焼体験ろくろ

若手交流会大懇親会の 余興係りを務めさせていただいて

委員会報告

3

松山支部 渡邊 道彦

「若手交流会は、♪ころうりゅうぐあいにしやしゅんせ♪」
突然、こんな名台詞が、思いついた自分にビックリしました。

おそらく、進行役のマドンナ橋本女史の大雑把な原稿に困惑しながらも一言で観客を驚掴みにしてしまう神業的トークに導かれたのではないかと、今でも感じております。

若手交流会では恒例となっております各県対抗でののみやげ物争奪戦を、ご当地ならではの「野球拳」で盛り上げて下さい。との実行委員長からの指令が今回の私の任務でした。

バリィさんに続け！とばかりに独自のアプローチで全国区に「愛媛にこの人あり」とその存在を知らしめつつあるサライの伝道師こと松本実行委員長の諸先輩方にも現在の若手の前向きな姿勢を認めてもらいたいとの熱い心意気に打たれ、うっかり任務を引き受けてしまったものの、これまで蚊帳の外で暢気に構えていたので数ヶ月前から準備に携わってこられた方々にモチベーションが追いつくはずも無く、建築士会に入会してからいろんな局面と向かい合う機会を得てきましたので以前に比べればだいぶ度胸だけはついてきましたが、冷静に考えるとただのジャンケン大会を長時間に渡って盛り上げられるのか？かなり無謀な挑戦だった様に思います。

おそらくは、運も味方してくれたのでしょうトップバッターに登場してもらった松山支部ではお馴染みの呉支部の原田氏（いしづち No.88 号参照）のお陰でその勢いそのまま最後まで乗り切る事が出来ました。

盛り上げ隊、鳴り物隊の皆様突然の呼びかけにもかかわらずご協力いただきましてありがとうございました。特に、カブリ物にもソツなくお応えいただきましたセンター井上さん、西森さんの懐の深さに感動いたしました。コノ場をお借りしてお礼申し上げます。

時間が押しているのでマキの指示を出していたにもかかわらず懇親会責任者の兵頭委員長自身による宇和島支部のPR がかなり長かった事を指摘して懇親会の報告とさせていただきたいと思っております。



大懇親会司会



大懇親会



八幡浜支部 PR



大懇親会「野球拳」